

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議 令和2年度 要望・回答

東日本旅客鉄道 京浜東北・根岸線

番号	要望事項	要望内容	回答
II 利便性向上			
1 駅施設等の整備			
(1)	関内駅の利用者の安全性確保、利便性向上を図るための駅施設等の整備	JR関内駅は、市庁舎や横浜スタジアムの最寄駅であるとともに、横浜都心部の玄関口の1つとして、一日の乗降客数が約11万人(令和元年度実績)と多くの方々が利用されています。 南口周辺では市庁舎移転を契機として、横浜文化体育館の再整備、教育文化センター跡地の活用、現市庁舎街区の活用、港町民間街区など、JR関内駅南口周辺を含めた関内・関外地区において、新たなまちづくりを推進しているところです。 これにあわせて、関内・関外地区の回遊性強化やバリアフリー化など、駅周辺のまちづくりと連携した駅舎改良について要望します。	関内駅南口においては、市庁舎移転等の新たなまちづくりとあわせて、駅舎改良等について関係自治体と連携し検討してまいります。
(2)	新杉田駅の混雑対策	新杉田駅は、一日当たりの乗降客数が約7万6千人(令和元年度実績)と、利用者が多い駅です。駅構内及び高架下に設置されているシーサイドライン・京急杉田駅方面との連絡通路は朝夕ラッシュ時には乗降客であふれ、著しく混雑している状況が見受けられます。 については、利用者の安全性の確保の点からも、適切な混雑対策を講じるよう要望いたします。	駅構内及び連絡通路の混雑解消につきましては、お客さまの流動を把握すると共に、関係者や自治体等と連携し改善の必要性について検討してまいります。